

カナダ企業に、適当な日本企業を紹介している。

商務一般担当



R. A. フェアウェザー参事官
● 商務部実務統轄 ● 経済開発 ● 貿易政策



J. R. ブロックバンク参事官
● 経済開発 ● 貿易政策 ● 事業投資 ● 合併事業 ● 技術提携



清原史朗商務官
● 公使補佐 ● Candu型原子炉 ● 石油化学



矢部庸治参事官
● 広報 ● トレード・センター ● 産業開発 ● 事業投資 ● 合併事業 ● 技術提携

なく、優先順位の設定も行わなければならない。この十月末に、前任者のテナント氏に代わって、かつて当大使館の商務官を務めたこともあるフェアウェザー氏が着任した。

首席商務参事官に直属して働くのが、三人の商務担当官。商務部の他のセクションが特定産業、特定製品の輸出促進を担当するのに対して、この三人は一般的な通商計画の遂行を任務とする。

首席商務参事官や公使（経済・商務担当）が活動の優先順位をつけられるように日加貿易の統計を作成したり分析する。カナダへの投資に関心のある日本の企業にカナダの経済環境について情報を提供し、また対日輸出上の障壁あるいは問題について情報を集め解決の道を探るのも仕事。

カナダから来日する企業の中には、個別商品の売り込み以外の目的で来る人びともたくさんいる。技術ライセンスを売りたい、フランチャイズ・チェーンを共同で設立したい、あるいは輸送サービスの利用促進をはかりたい——こうしたいわゆる「見えざる」輸出（貿易外取引）の目的で来日するカナダ企業を手助けするのも、担当者の役目だ。

日本はカナダにとって第二の輸出相手国であり、政府高官の訪日ミッションも多い。それら使節団の日程を組み、時にはスピーチ原稿や記者会見の資料を作成するのも、この仕事である。

具体的な例で紹介しよう。日加間に調印された政府調達に関する合意によって、カナダの輸出業者も日本政府の入札に参加する機会を認められるようになったが、当セクションではカナダ企業や商務部内の他のセクションに、どんな機会が与えられているかを説明し、その規則や手続

きを研究して個々の製品担当部門に紹介するということもやっている。

高度技術製品担当



L. J. W. ダフィールド参事官 ● 電気・電子機器 ● 輸送機器（航空宇宙機器・自動車・自動車部品） ● 防衛関連機器 ● 公害対策機器



山岡良平商務官 ● 航空・宇宙・防衛産業 ● 自動車産業



樋口備商務官 ● 電気・電子機器 ● 海洋開発機器 ● 輸送機器（鉄道・船舶）

それだけこの面での担当者の任務も大きい。あるとはいえず、

航空、防衛関係ではヘリコプター着艦装置、レーダーなどすでに長い取引関係があるものも少なからずあり、民間用の最新型ジェットエンジン、慣性航法装置も最近伸びている。当セクションでは日本の関係業界への情報・資料提供や日加両業界の連携をサポートするなど、両国企業

間の潤滑油としての仕事が多い。自動車関係では組み付け部品の対日輸出が最近とくに活発。

電気・電子機器ではTV部品とICの比重が大きい。カナダはテレビ関税払い戻し制度によって日本のメーカーがカナダに再投資することを奨励しており、すでに大手三社がカナダにTVの部品工場や組み立て工場を設置した。こうした形の日加提携の推進もこのセクションの重要な仕事だ。電子機器類ではこれまでにカナダ企業四十社が代理店を設置済み、輸送機器（鉄道・船舶）の分野では、

日本もカナダも海運国であり、海運・造船業界の協力関係が進んでいる。今年、バンクーバー港の近代化を図るためにカナダから視察団が来日し、横浜港の港湾施設を視察した（後日、両港は姉妹港となった）。日本の国鉄とカナダとのリニアモーターカーをめぐる技術協力（情報交換や部品の相互提供）にも大使館は関与している。海洋開発機器、輸送機器はエネルギー・セクションのカンキ商務官も担当。

農水畜産・食品担当

カナダの畜・水産物は、環境の良さ、広さを十分に生かした経営法によって良質の産物が多い。繁殖用の生体動物ではカナダが日本市場で圧倒的に強く、豚肉でもカナダは日本の三大輸入先の一つ。現在のところシエアの低い牛肉や鶏肉は、日本の消費